

こんな活動です

心豊かにたくましく生きる子を育む地域学校協働の輪

-地域とともに育つ子ども・学校をめざして-

奈良県生駒市		●活動名			●関係する学校名		
		壱分小学校地域学校協働本部			生駒市立壱分小学校		
協働活動開始年度	平成 24 年度	学校運営協議会	指定・設置日	地域学校協働本部	有		
		令和2年6月1日設置					
活動区分	学校支援活動		地域課題解決学習	—			
	—		放課後子供教室				
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数	配置人数			
	1人			17人			
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	無		
	117人						
参考URL	https://www.city.ikoma.lg.jp/category/18-11-0-0-0.html						
●連絡先	生駒市立壱分小学校		☎ 0743-76-8615				



ニコニコあいさつデー

●活動の概要・経緯

本校は、「地域学校協働活動」事業に取り組む以前より、地域ボランティアによる登下校の見守りや学習支援等の活動が行われていた。そのような中、地域で子どもたちの命を守るために、「子どもを見かけたら優しく声をかけよう」という声が高まり、平成24年に「やまびこネットワーク」が発足した。平成28年には、生駒市最初の市民自治協議会に認定され、「あいさつ運動」を中心に、「まちづくりワークショップ」、「防災訓練」、「子どもフェスタ」等の活動を通して、学校と連携を取りながら、まちぐるみで児童生徒の育成に取り組んできた。このことは、地域にとっても、学校と協働して子どもの育成に関わることで、楽しみや生きがいを見つけることができるといった関係を築くことにもつながっている。

令和2年度より学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動のさらなる充実・深化を図っている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

毎月8日の「ニコニコあいさつデー」は、地域のコミュニケーションの深化と安心安全なまちづくりの実現を目的として、小学校の児童会、PTA役員、民生児童委員、老人会、自治会等、多くの団体が参画する「あいさつ運動」として、継続的に取り組んでいる。さらに、学校教育目標「自ら学び、心豊かにたくましく生きる子の育成」を地域と共有し、その具現化に向け、各団体の協力・支援を得て、学校の花壇・栽培園の整備、植栽の指導・支援、収穫祭等学校行事での交流、学習のゲストティーチャー、実習の支援等の活動を実施している。このような地域学校協働活動を通して、学校を核とした地域づくりの推進と、「社会に開かれた教育課程」の創造をめざしている。

【実施に当たっての工夫】

統括的な地域コーディネーターが、各団体との連絡調整を行い、各団体の代表及び世話役が、地域学校協働活動推進員として、支援員やサポーターと協議しながら実際の運営にあたっている。それにより、活動内容や日程の調整、情報交換等が、迅速かつ円滑に行われ、多様な活動の推進につながっている。

【関係機関・団体等との連携状況】

- 生駒市生涯学習課、市民活動推進課、防災安全課等、行政機関と連携し、活動や運営への協力・支援を得ている。
- 令和2年度より設置した学校運営協議会では、各団体の代表が委員として参加し、学校との協働活動について成果や課題を共有することで、さらに横のつながりを強くしていくことをめざしている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 「ニコニコあいさつデー」に継続して取り組んだことで、児童が自分からあいさつができるようになってきた。地域の方や来客者から、「元気な挨拶ができる子どもたちですね」という評価の声が多くなってきた。
- 地域の方との交流や活動を通して、会話をしたり招待状やお礼状を書いたりする中で、児童のコミュニケーション力が高まり、感謝の心や相手を思いやる気持ちが育ってきている。
- 地域の方からは、児童と交流することで、「元気をもらえる」、「学校に来るのが楽しい」等の声がある。地域学校協働活動を通して、「地域の宝である子どもを共に育てていく」という思いを学校と地域がしっかり共有できている。

● その他

令和元年度の夏期休業中に、生駒市教育委員会生涯学習課、家庭教育支援チーム「たけのこ」と連携し、「いきいきスクール」、「たけのこふれ愛in壱分小」を開催し、本校児童、保護者、地域の方など多くの参加者が集い、つながりを深めた。



「イキズクツライキング体験」



おもしろいワシのフライのみなさんをおもてなし